

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

発行元：米川地域振興会
発行日：2019年7月1日
第99号

米川新聞

第35回東和キリシタンの里まつり



好天に恵まれた6月2日（日）綱木農村公園で第35回東和キリシタンの里まつりが開催されました。まつりに先だって江戸時代初期キリシタン禁止政策で殉教した信者120名の御霊を偲ぶ殉教祭・記念ミサがカトリック米川教会で執り行われました。カトリック水沢教会の高橋冒神父が聖書を読みあげ、信者が讃美歌を歌い、厳粛に祈りが捧げられました。その後海無沢三経塚に登り献花が行われ、この地にキリシタンが

入ってきたのは室町時代、南蛮流製鉄技術を伝授するために招かれた千松兄弟によるものとされています。当時製鉄場を焔屋（どうや）と呼んでいて、焔屋で鉄が解けるには長時間を要し、ある唱えごとをしないと鉄がよく溶けた。この教えがキリスト教だったということとにもキリスト教も広まっています。江戸時代初期度重なるキリスト教弾圧を経て信者は隠れキリシタンとして潜伏す

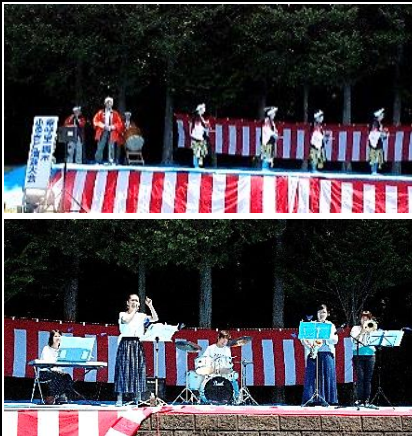


が旭日単光章、地方自治功勞で叙勲されることになりました。永きに渡り東和町議会議員並びに議長として活躍されたことが認められ、その支えがあつて務めることができました」と謙遜をこめていただきましたが、受章誠にありがとうございました。



令和元年6月1日付高齡者叙勲が発表され、4区（88）の首藤誠さん（88）の

高齡者叙勲



ることとなりました。こうして暫く平穏が続きました。江戸時代中期突然のキリシタン惨殺により120名の殉教者が出、三経塚はその人たちが葬られた聖地といわれています。

おもてなしの心 あふれる笑顔
Hospitality and Smile
米川公民館



発行元
発行責任者
郵便番号
住所
Tel
Fax
E-mail
URL

米川地域振興会（米川公民館内）
佐藤 裕孝
987-0901
登米市東和町米川字四十田25番地1
0220-53-4155
0220-23-9030
yonekawa.kou@chime.ocn.ne.jp
http://miyagi-Yonekawa.com/





米川長生大学開講式並びに第1回学習会

6月10日(月) 米川公民館で米川長生大学が開催されました。第1回学習会では登米地域振興事務所県民サービスセンターの職員による「消費者トラブルに遭わないために！」と題して講演がありました。悪質商法に注意する方法として、①うのみにしない、②相談する、③断る、④契約しないことが大事だということです。寸劇もあり楽しい学習会となりました。

リーグ戦試合結果

	2区	3区	4区	勝敗	順位
2区		○ 2-0	○ 2-1	2勝	1
3区	× 0-2		○ 2-1	1勝 1敗	2
4区	× 1-2	× 1-2		2敗	3

6月8日行われた標記大会は熱戦が繰り広げられ、地力に勝る2区が優勝を果たしました。

ナイター家庭バレーボール大会



優勝した2区の選手の皆さんと応援団

7月の予定

1	月	
2	火	レガッス愛好会、手づくり文化祭実行委員会
3	水	泉趣会、かたき愛好会
4	木	あばせグランド・ゴルフ、行政書士会仙北支部役員会
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	社会教育主事研修(18日まで)
9	火	レガッス愛好会
10	水	泉趣会
11	木	あばせグランド・ゴルフ、環境部会「野生鳥獣対策講演会」
12	金	
13	土	ふるさとスポーツ(バレーボール)
14	日	東和フットサル
15	月	海の日
16	火	ふれあいサロ、レガッス教室
17	水	泉趣会、かたき教室
18	木	あばせグランド・ゴルフ、米中16回生、俳句教室
19	金	
20	土	
21	日	参議院議員選挙
22	月	
23	火	ふれあいサロ、レガッス愛好会
24	水	泉趣会
25	木	あばせグランド・ゴルフ、かたき教室
26	金	鶴岡・宮城北支店
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	ふれあい出前講座(午前-公民館、午後-交流センター)
31	水	泉趣会

米川の世帯数と人口

令和元年5月末現在

行政区	世帯数	男	女	計(人)	前月比
1区	159	136	157	293	△1
2区	98	130	124	254	△3
3区	109	151	152	303	△3
4区	103	137	112	249	0
5区	75	103	108	211	0
6区	86	120	116	236	2
7区	64	93	98	191	△2
8区	116	116	131	247	3
9区	61	65	89	154	1
10区	38	60	48	108	0
計	909	1,111	1,135	2,246	△3

米川公民館 俳句教室

選者：俳句教室講師 及川奈奈夫 氏

6月の兼題 入梅、花あやめ、雑詠

梅雨兆す古傷擦る媼 おうなかな
野仏に一礼し畦苳り終はる
板倉のきしむ鎧戸梅雨に入る
友と乗る銀河鉄道梅雨晴間
花あやめ屋敷なごりの棚田畦
木下闇(こしたやみ)一個の団子の子安堂
芍薬(しやくやく)の色変りたる昼下が
曾孫とままごとの莫産梅雨晴間
青き目に混じり古刹(こさつ)の花あやめ
葱坊主そよそ揺るる夕日中
花菖蒲一輪活けて弁当や
花あやめ活けて華やぐ仏間かな

選者の一句
葛西碑の土塁の丘や花あやめ



米川 及川豊子
米川 及川守男
米川 及川裕子
米川 大橋久子
米川 小野寺好彦
米川 小野寺好道
米川 首藤恭子
米川 菅原いよ子
米谷 須藤捷子
米川 千葉勝保
米川 千葉サキコ
米川 村上君枝